

アースアキュライザーの活用(1)(HP 収載)
—TASCAM DA-3000 と仮想アースの接続—

1. 始めに

アースアキュライザーの導入経過については、16回にわたってアースアキュライザーの導入シリーズで報告してきました。今回からやり残した機器について追加の検討を行っていきます。

2. アースアキュライザーEA-1の試聴計画

今回は、TASCAM DA-3000 と仮想アースの接続について実施します。

DA-3000は、Sonica DACからのアナログ入力を受けて、DSDあるいはPCMフォーマットで録音したり、SDIFに変換して、L/R信号および同期を採るクロック信号をBrooklyn DAC+に送り出すことを担っています。

TASCAM DA-3000は現在、アースアキュライザーの導入(13)で報告したDMR-UBZ1と同様、空きRCAポートに光城精工のRCA端子用アースケーブルにより自作仮想アースに接続しています。このRCA端子用アースケーブルと自作仮想アースにアースアキュライザーを介在させてみます。自作仮想アースは、アースアキュライザーの導入(16)で使用したものです。

さらに、オーディオ仲間からいただいたRCA端子に抵抗とコンデンサーをつけたRCAポート用の仮想アースにアースアキュライザーで上記の自作仮想アースを接続することも試みます。抵抗とコンデンサーを外してもいいのですが、とりあえず、そのまま使用します。



音源は下記を使用します。

STAGE+

ベートーヴェン ピアノソナタ 30番 31番 32番
マウリツィオ・ポリーニ (ピアノ)

バッハ 無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータ
シュロモ・ミンツ(ヴァイオリン)
ベルリンフィルデジタルコンサートホール
フランツ・リスト ピアノ協奏曲 1 番
エフゲニー・キーシン (ピアノ)

3. アースアキュライザーEA-1 の試聴結果

RCA 端子用アースケーブルと自作仮想アースにアースアキュライザーを介在させますと次のようになりました。

ベートーヴェンのピアノソナタは、わずかに打鍵がクリアーになったかなという程度の変化です。

バッハの無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータは、幾分音がくっきりとしたかなという程度です。

リストのピアノ協奏曲 1 番は、わずかにオーケストラの分離が向上し、ピアノの打鍵がクリアーになったかなという程度の変化です。

RCA 端子に抵抗とコンデンサーをつけた RCA ポート用の仮想アースにアースアキュライザーで上記の自作仮想アースを接続しますと、次のようになりました。

ベートーヴェンのピアノソナタは、打鍵のアタック感とその後の響きがそれぞれ明瞭になり、高音が美しく、低音の迫力が増します。

バッハの無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータは、滑らかさと切れ味が両立します。

リストのピアノ協奏曲 1 番は、打鍵のアタック感とその後の響きがクリアーになり、オーケストラの音の分離と協和が向上して個々の楽器の質感が明瞭になります。

4. まとめ

DA-3000 の空きポートの RCA 端子用アースケーブルと自作仮想アースにアースアキュライザーを介在させましたが、とりたてて指摘するほどの変化はありませんでした。

DA-3000 の空きポートの RCA 端子に抵抗とコンデンサーをつけた RCA ポート用の仮想アースにアースアキュライザーで上記の自作仮想アースを接続しますと、大きな効果を認めました。

以上